

5年家庭学習の手引き

(双葉小)

○はじめに、宿題をしっかりとやりましょう。

<国語>

1 音読(声を出して読みましょう)

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
(漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように)
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。
- まだ勉強していないところも読んでいいです。



2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本をみながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意していねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
例:「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。例:「きへん」のつく言葉をノートに書く。
例:「明るい」←→「暗い」のようにノートに書く。
- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。
(調べる前に意味を予想してみるのもいいです。)
調べたらノートに意味を書いておきましょう。



3 日記・作文

- 意味調べをした熟語を使って短文を作る。
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をできるだけたくさん使って書きましょう。
- ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、感想文や意見文を書いてみましょう。
(目にとまった新聞記事を切り抜いておくとよい)

4 読書

- いろいろな種類の本を読みましょう。

5 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文をかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。何度も見てはだめです。
(慣れてきたら一回で見るかたまりを長くしていきます。書き写すのが速くなります。)

<算数>

1 授業で勉強した内容(復習)

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
(同じ問題を何度も練習すると間違えないで早くできるようになります。)
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題をといたら丸付けをしましょう。
- まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。

2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。



<社会・理科>

1 授業で勉強した内容(復習)

- 大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

2 教科書の少し先の内容(予習)

- 声を出して教科書を読みましょう。
- 分からない内容や興味のあることを図鑑や事典・インターネットなどで調べましょう。

<その他>

- 家にある問題集をするのもいいですね。
(答え合わせをして、まちがったところはきちんと直しましょう。)
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。

○ きまった時間に、きまった場所で、50分以上、勉強しましょう。

○ 毎日がんばりましょう。

《保護者の方へ》

お子さんに励ましの言葉をかけてあげるように、ご協力をお願いします。